



ゆるゆる通信

vol 42



年の瀬にむけて、厳しい寒さが続いています、
皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか？

ワクワクしながら始まった2014年でしたが、残すところ、あとわずか。
今回はココロに浮かび上がるままに、北海道での活動を振り返ってみました。

去年の10月に立ち上げた「女神塾」は、この一年間、わたしに豊かな体験をもたらしてくれました。一緒に立ち上げて下さった、スピチュアル手相観マリカさんや、東川のミココ口結びの由美子さんを始め、素晴らしいご縁に恵まれながら12月までやってこられました。本当に感謝です。

毎月、スペシャルな講師の方々が登壇して下さいのおかげさまで、参加して下さいの方々と共に私も、自分の中の可能性を見つめ、本当の自分に帰っていくチャンスと勇気を頂き、より深く自分を許し、愛することが出来るようになりました。

「女神塾」でやりたいと思っていた自主上映会も、実現できました。
「かみさまとのやくそく」という映画にめぐり会い、5月に「まほろば」や「みんたる」で上映会を行って実行委員を募り、実行委員会を立ち上げることが出来ました。

その中のJさんが実行委員長を引き受けて下さり、緻密な仕事ぶりで実行委員を率いて、美事に大盛会へと導いて下さいました。
実行委員の皆さま、本当にありがとうございました。

「ゆる体操」を広めたくて北海道へ来るようになってから、今年で8年目です。
私にとってのこの8年間は、まさに「自分を信じること。本気で活動すると、ご縁が繋がって実現すること」を学ぶための8年間だったようです。
いま振り返ってみて分かったのは、「女神塾での1年間は、その総集編だった」ってこと。

だった…。とわたしは過去形で言いましたが、それは…
北海道での仕事を、いったん休止することにしたからです。

最も大きな要因は、同居している義父母の健康状態が、不安定になってきたことです。
「ゆるゆる通信」でも時々登場していますが、舅が95才、姑が92才です。
耳が遠い義母と、足の悪い義父との生活は、まるで笑い話のような様相をおびてきました。
ほんとうに、志村けんさんがやっている、コントのような感じなんですよ～
夫と二人で対応していると「笑いごと」に受け取れるけど、私が留守をされていて、夫が一人で対応していると、顔が引きつってくるようです。

北海道から帰るとゲッソリとした顔で出迎えるようになってきました…(^o^;)vuvu

じつは、義母は末期のガンを患っています。
こう書くと深刻そうに聞こえるかも知れませんが、まったく深刻な雰囲気はありません。
母は死ぬことを非常に怖がりますので、ガンだとは伝えてないからです。

今のところ痛みや、他の症状も無いので治療もせずに、家で生活しています。
料理も、洗濯も洗濯干しも自分でしながら、暑いだの、寒いだのグチをこぼしながら、でも、主婦としても仕事は完璧にしている、と自負しながら、ごく普通に暮らしています。

本当はいつどうなっても不思議のない状態なのですが、「知らぬが仏」とはこのことだなあ～と、お義姉さん夫婦と一緒に、のんびり見守っています。

ですから今は活動を関東に絞って、家族との時間を大切に味わっていきたいなあと思って決断したのです。

2014年が終わろうとしているいま、一つの扉が静かに閉じていくのを感じています。
そして、2015年には、新たな扉が開かれていくのでしょうか。

女神塾は12月で終了しますが、「まほろば・女神のデコルテ教室」と、道新文化センターの「ゆる体操教室」には3月まで参ります。
残りあと3回ですが、皆さまとのご縁を味わいつつ参りますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

閉じてゆく「女神塾に」うれしいお別れメールを頂きました。
「女神塾のおかげで、がんこな思いこみにヒビが入りました。
以前よりずっと気持ちが楽です。
あれこれ心配せず、今ここにいます。
じぶんがまるごと、好きになりました。感謝します。」

「自分は自分でいいんだ」と思えた瞬間から、私たちは自分を好きになっていきます。
「人と比べての自分」の立ち位置、ではなく、「人と違っていい、ありのままの自分」を味わい、表現して生きていきましょう。

どうぞ良いお年をお迎え下さい。
2015年も、素晴らしい年でありますように(*^o^*)

☆ まほろば「女神のデコルテ教室」 am10:30～12:00
2015年 1月26日(月)・2月23日(月)・3月30日(月)

まほろば

No.4021 14-181 12/26

